

R18
FOR ADULT ONLY

LoveLoveLove

THE LEGEND OF HEROES / SEN NO KISEKI II & AO NO KISEKI
C·A·T/KurumiMorisaki





ただいま



疲れたあ

なんか最近
仕事量が増えてる
気がするわ...







リンー!!

びっくりしたわ
本当に
来ていたのね

すまないアリス
こんな所に
呼び出して

仕方ないわ
あなたと
ヴァリマールは
有名なもの

ヴァリマールも
久しぶりね

人目につく方を固まってる





準契約者ノ
波長ヲ確認

アリサヨ
壮健ソウデ
ナニヨリダ

…それよりリイン
突然どうしたの？
それもこんな
時間に……

ふふ…名前を
呼んでくれて
嬉しいわ

任務で黒竜関に
来ていたんだ



—アリサ



なかなか時間が
取れなくて
こんな時間に
なつてさ…

ヴァリマール
俺はアリサと話が
あるから少し
休んでいてくれ

—承知シタ
用カ済ンダラ
声ヲカケルガイイ



いいわ
好きにだけ
こうしていて

元々内に
抱える人では
あるけど……

リインは抱えた
苦しみを口に
出さなくなつた

だけど
私は聞かない……

リインがそれを
望んでいないから……

えっと……
ありがとう
アリサ

ごめんもう
大丈夫をみる

あら……
もう良いの？

え……？

こうして抱き
ついてるだけで
満足かってこと

これで止めたら
私は満足どころか
欲求不満に火が
着いちゃうわよ？



アリサ…なんか
だんだん大胆に
なっていくな

だってあなたと
過ごせる限られた
時間の中で
最大限の愛情を
感じたいもの

リン…
あなたは
どうなの？

さっき言っただろ？
限られた時間を
最大限に活かして
逢いに来たんだ



それじゃあ
二人の時間は
大事にしないと…ね



あ

ん

ん















あぁぁぁ

あぁぁぁ
あぁぁぁ
あぁぁぁ

いぢぢぢぢぢ

いぢぢぢぢぢ

いぢぢ
いぢぢ
いぢぢ

いぢぢぢぢぢ

いぢぢぢぢぢ
いぢぢぢぢぢ
いぢぢぢぢぢ

……えーっと
アリサ……
なんで膝枕？

いいじゃない
こういうのも
悪く無いでしょ？

——ルーレは
街明かりが
強いのに意外に
星が見えるんだな

そうね……今日は
比較的綺麗に
見えてるけど

でもやっぱりノルドで
見た星空に比べたら
見劣りするわね

ああ……
ノルドの星空は……
格別……だった……
な……

それはまあ……
嬉しいけど



——リインハ
常二疲労度ノ数値が
高イ値ヲ示シテイル

休息方必要タガ
リインニハ自覚方
無イヨウダ

ヴァリマール…



……リイン？
寝てるん？



リインの置かれた
状況が解らない
事が辛い……

側で支えて
あげられない
事が辛い……

でも学園を去ってまで
見定めたこの道を
道半ばで投げ出す
訳にはいかない

だから……

そう……やっばり
大分無理を
しているようね……



孤独で寂しい
場所でも
あるけれど

何よりも
頼もしい
存在でもある
あなたになら……

ヴァリマール
お願いがあるの

リインを
守って

……今は側に
居られない
私の替わりに

起動者ハ我ト
一心同体デモアル
任セルガイイ



所ア——

先刻ソナタ達ノ
心拍方異常ナ
値ヲ示スト共ニ
身体ノ一部份結合
シテイタヨウダガ

人ハ合体スル
モノナノカ?

あー！
あなたは少し
気を利かせる事を
覚えてちょうだい！



今回のマンガは話の作り上、
アリサ、エリイ、ミレイユ共に衣装は
殆どオリジナルです。
二次創作は公式以外の衣装(オリジナル)で描くと
「誰これ?」になるリスクがあるので、
ホントは避けたい所だけど、考えてた話の関係もあるし
ここはあえてチャレンジ。
一応それぞれキャライメージを意識しつつ
描いてみました。
でもやっぱりセンスが問われる部分だから難しい…。

今回のマンガを描くにあたり、
時間軸の流れを考え服装も夏服に
した方がよさそうだなあ…と言う事で、
衣装はオリジナルで描きました。
←はデザインの参照用に描いたアリサ。

表紙用…だったけど没図案。
まあ夏なので水着エリィさんを
描いてみたかったのです。





——ロイド

77



エリイ…

眠れない?

うん…何故かね…
体はかなり疲れて
るんだけどさ

ふふ…実は
私もそうなの

ひよっとして
みんなも?





大丈夫：
エリイは
俺が守る

……あ



その…私達の
これからは…
どうなる…の…？

……り

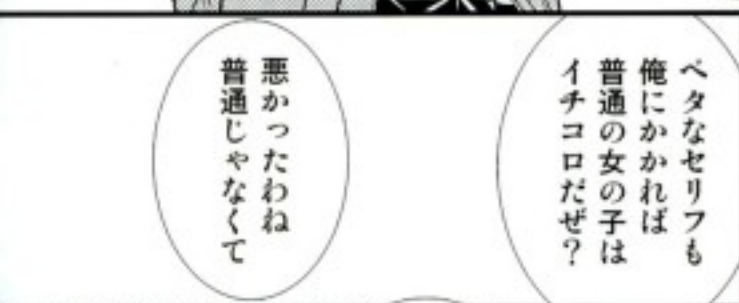


ロイド……



ねえロイド…
もう一つ
聞いていい？







ほらミレイユ
俺の
とっておきだ

クロスベル最大の
危機を乗り越えた
祝いと行こうぜ



まったく…
また
誤魔化された…



……っ！
ラ…ランディ！
そ…それって

マスター
俺のボトル
出してくれ

ああ…
待ってろ



キア奪還と
互いの生還を
祝って

乾杯

……でも
仕方ないか



この人は多分

特定の誰かを
愛する事から
逃がっている……

それはきっと
彼の過去に関係
しているのだろう

私はランディの
過去なんて
知らないけど

過去はどうあれ
私の彼に対する
信頼は本物だ



ニヤニヤ...

すー...

おいおい...
こんな所で
寝るなよ



潜伏生活に
赤い星座との
激闘じゃ
仕方ねーか...



——ミレイユ?

私は彼を——...

いえ.....
この想いは
信頼じゃない...



ともかく...
ボサッと
飲んでないで
彼女を何処かで
休ませてやれ

何処かって
何処だよ?



お前だって
相当な激戦して
来たんだらう?

はは...俺は
慣れてっからな



ランディ...お前なあ
自分が大事に想う
相手にくらはいは
甲斐性見せてやれよ

.....っ!



—つたく…
らしくない
酔い方して
くれたもんだ

俺のベッドで
寝る女はお前が
初めてだぜ？



いや……
本当は相当
疲れてるん
だよな……

ん……



俺の大事な
相手……か

マスターも
酷な事言うぜ……

大事だからこそ
ダメなんじゃ
ねーか……

……ダメ……？

ダメって……
何がダメなの……？

ランディ……
私は……
ダメ……なの……？

私は……

貴方の事……

——解ってる

ウイスキーの香りと
唇に感じる感触……

夢だとしても……
凄く心地良い……





え…何？



了解だ

あ…でも
一つ頼まれて
くれねーか？



え……
ここ何処？

コン

コン



——う……ん



おはよう
ミレイユさん

カチ……カチ……
入ってもいいかしら？



ま...
まさか...!?



ま...
...ちよつと
女として寂し
かっただけ

あ



ランディの
部屋よ

ミレイユさんが
酔いつぶれて
しまったから
連れてきたそうよ

エリイさん...!
じゃあ...ここは
ひよつとして...



はあ...

あの...
大丈夫?

いえ...平気よ
ありがとう

一応寝直さ
せよう



え………？

口紅が
取れてるわ



さて…帰るわね
ランディに
有り難うって
伝えておいて



ええ…でも
その前にお化粧を
直した方がいいわ

え？



…まさか
あれって…



LoveLoveLove

THE LEGEND OF HEROES / SEN NO KISEKI II & AO NO KISEKI

© 2011 Takumi Motosaki ◆◆◆◆◆ 24/11/11 Furumaru

